

(様式第2号)

## SDGs達成に向けた宣言書(要件1)

宣 言 日 令和2年12月28日  
住 所 埼玉県三郷市彦野1丁目81番地  
県内企業等の名称 株式会社ヤマモトジオサーブ  
代 表 者 氏 名 代表取締役 山本 正治

株式会社ヤマモトジオサーブ はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた  
取組方針を下記のとおり宣言します。

記

### SDGs達成に向けた県内企業等の取組方針

ヤマモトジオサーブは、「誠実であること」を社訓とし、安全・迅速・正確な調査を実施することで、地域社会に貢献します。「誠実であり続ける」ことを原点に、50年先のヤマモトジオサーブを見据え、「自助」「共助」「公助」をキーワードに、SDGs達成に向け、企業としての取り組みを考えます。(別紙参照)  
今までも行ってきた自社の取り組みについては、SDGsの目標に照準を合わせて、さらに強化します。  
【=強化取組】 また、小さな企業でも実行可能な率先行動を組み込み、意識的にSDGs達成に向けた取り組みを励行します。【=先攻取組】

三側面	SDGs達成に向けた重点的な取組	指 標
環境	■地域の河川・水路の美化活動■ この地域で事業活動をさせてもらっている恩返しの気持ちも込めて、私たちにできることとして地域の河川・水路の保全活動に積極的に参画することで、地域の豊かな環境と原風景を次世代へ継承することをめざします 2020年の数値:清掃活動未実施	<2030年に向けた指標> 透視度50cm・ゴミのない水辺景観の実現、参加人数累計200人日  <取組開始3年後に向けた指標> 第二大場川:年1回、上彦名地区用水路:年3回の清掃活動、参加人数累計60人日
社会	■防災教育・技術講習・地盤相談の開催■ 地域地盤に関する豊富な知見・経験等を活用して、地域の方々に役立つ情報を提供したり、防災について啓発することで、気候関連災害や自然災害に対する強靱性(レジリエンス)及び適応能力の強化をめざします 2020年の数値:講座・講習・相談会未実施	<2030年に向けた指標> 講座・講習・相談会開催累計20回、受講者累計300人  <取組開始3年後に向けた指標> 年1回地元での出前講座を開催、受講者累計50人
経済	■当社の事業活動及び技術開発■ 私たちの事業活動である地質・土質・地下水調査において「誠実な調査を安全・迅速・正確に実施し、高品質で信頼性の高い成果を納入する」「技術開発を促進する」ことで、強靱なインフラ構築、持続可能な社会の実現をめざします 2020年の数値:作業班4班・技術士1名・地質調査技士5名、測量士1名、土木施工管理技士2名	<2030年に向けた指標> ご依頼者様の信頼からもたらされる受注の増加、作業班の増設(作業班8班)、資格取得(技術士3名、地質調査技士10名、その他資格5増)  <取組開始3年後に向けた指標> 作業班の増設(作業班5班)、技術継承・資格取得(地質調査技士7名、その他資格2増)

#### 【記載留意点】

- ・(様式第3号)SDGs達成に向けた県内企業等の基本的取組事項(要件2)に記載いただいた取組内容を踏まえ、「環境」「社会」「経済」の三側面の全てについて、「SDGs達成に向けた重点的な取組」を記載してください。
- ・指標は原則として数値目標を記載してください。
- ・SDGsのターゲット年である2030年に向けた指標をベースにして、取組開始から3年後に向けた指標を記載してください。